

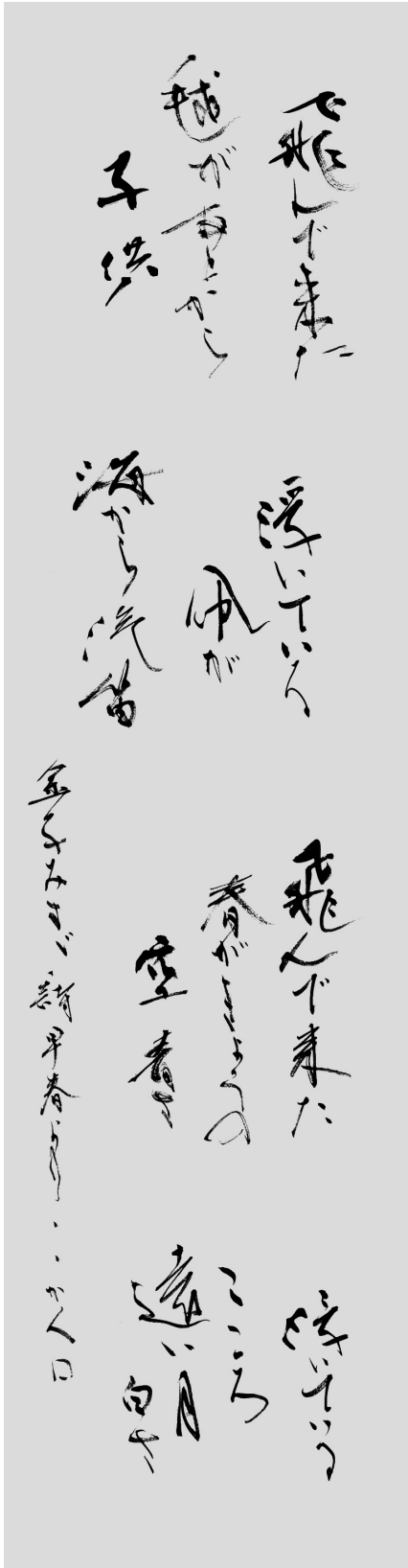
2月25日正午必着

明石春浦先生書



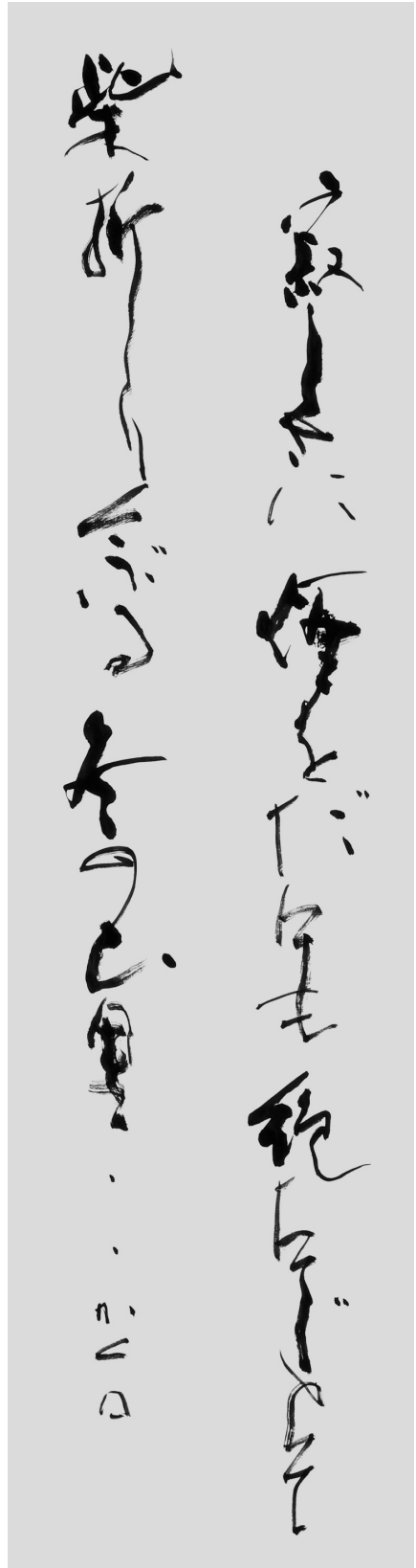
千林映日鶯亂啼 萬樹圍春燕雙飛 (唐寅詩)

菅井松雲先生書



飛んで来た毬が、あとから子供。浮いている風が、海から汽笛。
 飛んで来た春が、きょうの空 青さ。浮いているところ、遠い月 白さ。
 (金子みすゞ)

明石幸子書



寂しさに煙をだにも絶たじとて柴折りくぶる冬の山里(和泉式部)

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

野鶯啼破^レ春(曹松)

野鶯^{やおう}啼^ないて春^{はる}を破^{やぶ}る

うぐいすが春のおとずれを告げてなく。

鶯花世界如^ニ春夢(張翥)

鶯^{あう}花^{かせ}世界^{せかい}如^{ごと}く春^{はる}夢^むの如^{ごと}く
煙^{えん}雨^う樓^{ろう}臺^{たい}似^{ごと}く畫^え圖^ず

鶯花世界は鶯鳴き花咲く春の景色の眞盛り。烟雨樓臺の烟雨はきりさめ、細雨、杜牧の詩に「多少樓臺烟雨^と中」と。

湖中閑夜(朱慶余)

湖^こ中^の閑^{かん}夜^や

朱慶余

釣艇同^ニ琴酒(良宵背^ニ水濱)

釣^{ちよう}艇^{てい}同^とに琴^{きん}酒^{しゆ}と良^り宵^{ゆう}背^{せい}に水^{すい}濱^{ひん}に背^{そむ}く

風波不^レ起處(星月盡^レ隨身)

風^{ふう}波^は不^お起^おる處^{ところ}星^{せい}月^{げつ}尽^{ことごと}く身^みに隨^{したが}う

浦迴湘雲卷(林香嶽氣春)

浦^{うら}は迴^ほか^かに^かして湘^{しやう}雲^{うん}卷^まき林^{はやし}は香^かしくして嶽^{がく}氣^き春^{はる}なり

誰知此中興(寧羨^ニ五湖人)

誰^{たれ}か知^しらん此^この中^の興^{きよう}寧^{なん}ぞ五^ご湖^この^う人^{ひと}を羨^{うらや}まんや

ふる里はここにありしか朧夜にむかひてあれば涙こぼる(窪田空穂)

半紙部規定課題A

2月25日正午必着

越 田
水 塘
分

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

2月25日正午必着

行書

越 回塘分
越 回塘分

隸書

越 回塘分
越 回塘分

明石春浦先生書

草書

越 回塘分
越 回塘分

行草書

越 回塘分
越 回塘分

回れる塘には、越の地の水が分れて流れており、年古りた樹々には、呉の地の煙がいつぱいにむらがる
竹は地を掃うかのように揺れて、席を敷くように催促するし（池塘のほとりには）蘿が垂れ下り、船をつなぐのを待つ
ているかのよう

鳥ははじけたばかりの栗の実をのぞきこみ 亀はなかなば傾いている蓮の葉の上にあがる
帰ることを忘れてしまうこの庭園をしばしば訪れるたびに 俗事に束縛されているこの身を思い、深いためいきをつく

秋日過徐氏園林 包佶

回塘分越水

古樹積吳煙

掃竹催鋪席

垂蘿待繫船

鳥窺新罇栗

龜上半敬蓮

屢入忘歸地

長嗟俗事牽

秋日 徐氏が園林に過る

包佶

回塘 越水を分ち

古樹 吳煙を積む

掃竹 席を鋪かんことを催し

垂蘿 船を繫かんことを待つ

鳥は窺う新たに罇けし栗

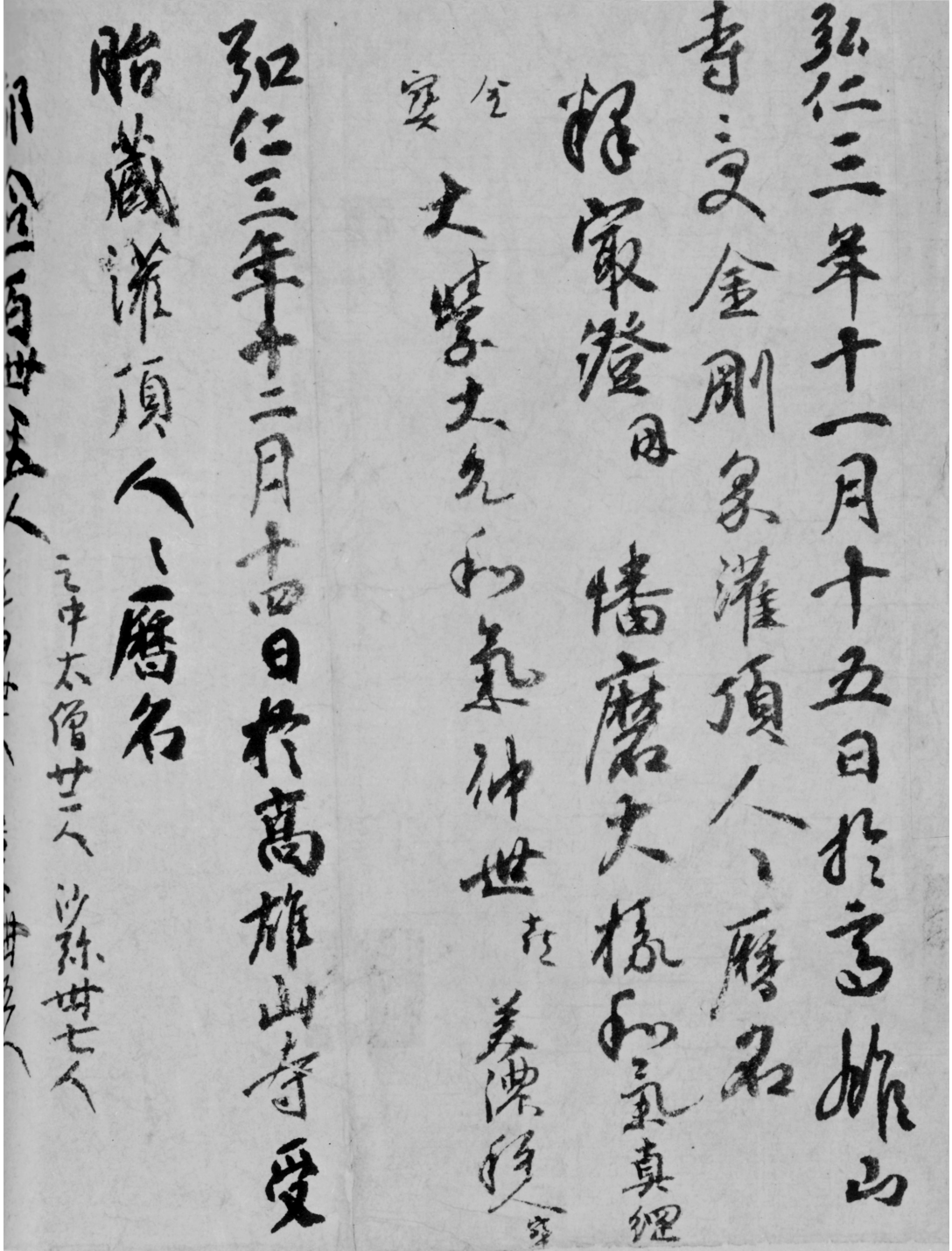
龜は上る 半ば敬つ蓮

屢々帰ることを忘るる地に入り

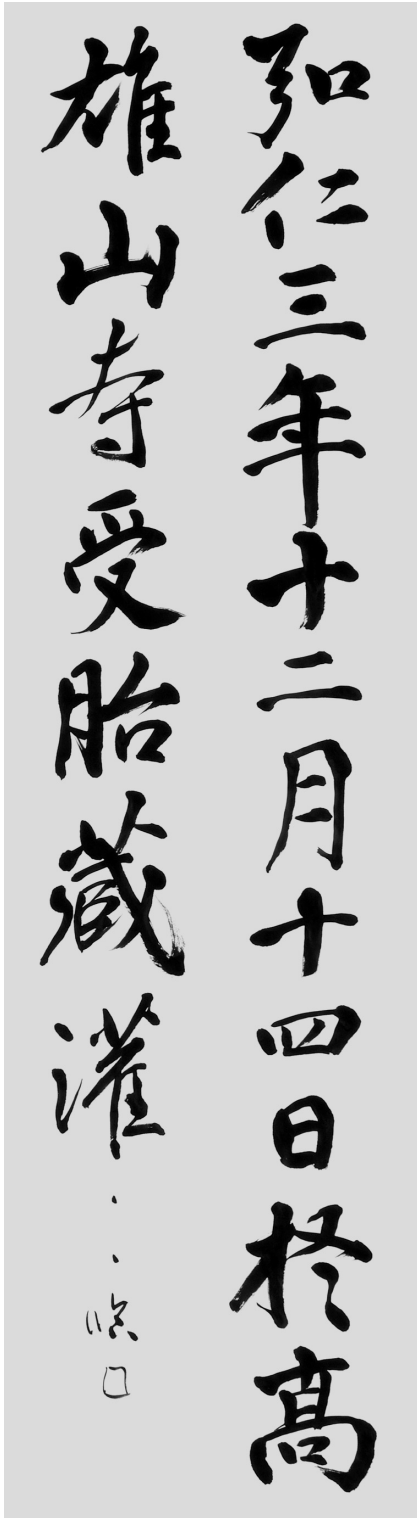
長く嗟す 俗事に牽がること

(出典)

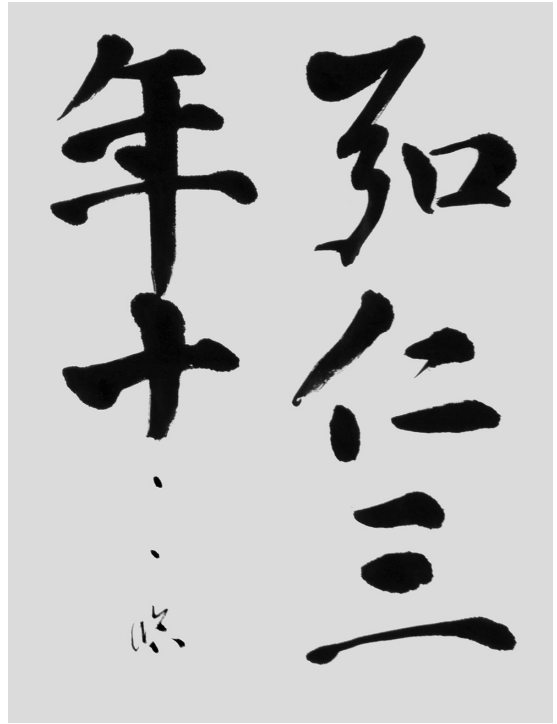
朝日新聞社刊
「三体詩」下より



弘仁三年十一月十五日。於高雄山／寺受金剛界灌頂人々曆名。／釋最澄因 播磨大掾和氣真綱／寶 大學大允和氣仲世 喜 美濃種人 寶
 ／弘仁三年十二月十四日。於高雄山寺受／胎藏灌頂人々曆名。／(都合一百卅五人)之中。太僧廿二人。沙彌廿七人。



弘仁三年十二月十四日。於高雄山寺受胎藏灌



弘仁三年十

平安 空海・灌頂記

空海が弘仁三年（八一二）及び四年に高雄山寺（神護寺）において灌頂を受けた僧及び俗人の名を列記したもので、卷子本一巻から成る。

この記録は一度に書かれたものではなく、三十日から八十日を隔てて三度またはそれ以上をかけて書かれたと言われている。したがって、書風も少しずつ違っている。

空海の書は中国留学によって唐人からの影響を強く受けたと言われ、特に顔真卿に心酔したとされる。

この灌頂記は記録として書されたものであるため、あちらこちらに訂正箇所が見られる卒意の書である。字形は円筆にして向勢で、点画太く筆力の充実した空海の書の魅力を味わうことができる。

※灌頂：密教で阿闍梨より法を受ける時の儀式。

（春濤）



り
理

ろん
論

中学一年

雨宮春聲先生書



ごう
剛

けん
健

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

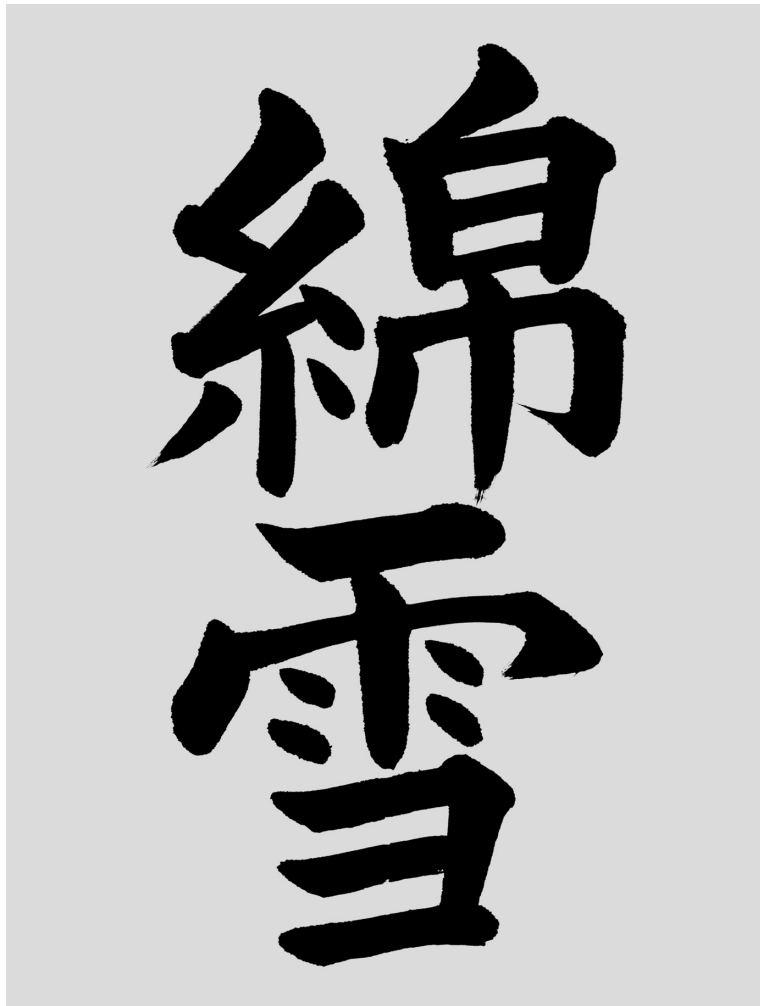


とも
友

たち
達

小学五年

榎戸春龍先生書



わた
綿

ゆき
雪

小学六年

横川春川先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

2月25日正午必着



だい

こん

小学三年

藤田幸春先生書



へん

か

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

う め 小学一年・幼年



森戸春濤書

火 山 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

が勝つかわからない	試合は混戦でどちら
-----------	-----------

小学五年

座はオリオン座です	冬の南東に見える星
-----------	-----------

小学六年

て邪気を払います	節分は豆まきをし
----------	----------

中学

ち遠しい限りです	雪に閉ざされ春が待
----------	-----------

一般(級位)

雲寒き夕山おろし 吹きおちて こよひは雪に見ゆる空かな (藤原 爲相)

てこよひは雪に見ゆる空かな	ち遠しい限りです
---------------	----------

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

は	ゆ
し	き
る	の
	な
う	か
さ	を
ぎ	

幼年

花	お
の	と
よ	ぎ
う	ば
せ	な
い	し
	の

小学一年

お	交
し	ば
え	ん
て	て
も	道
ら	を
う	

小学二年

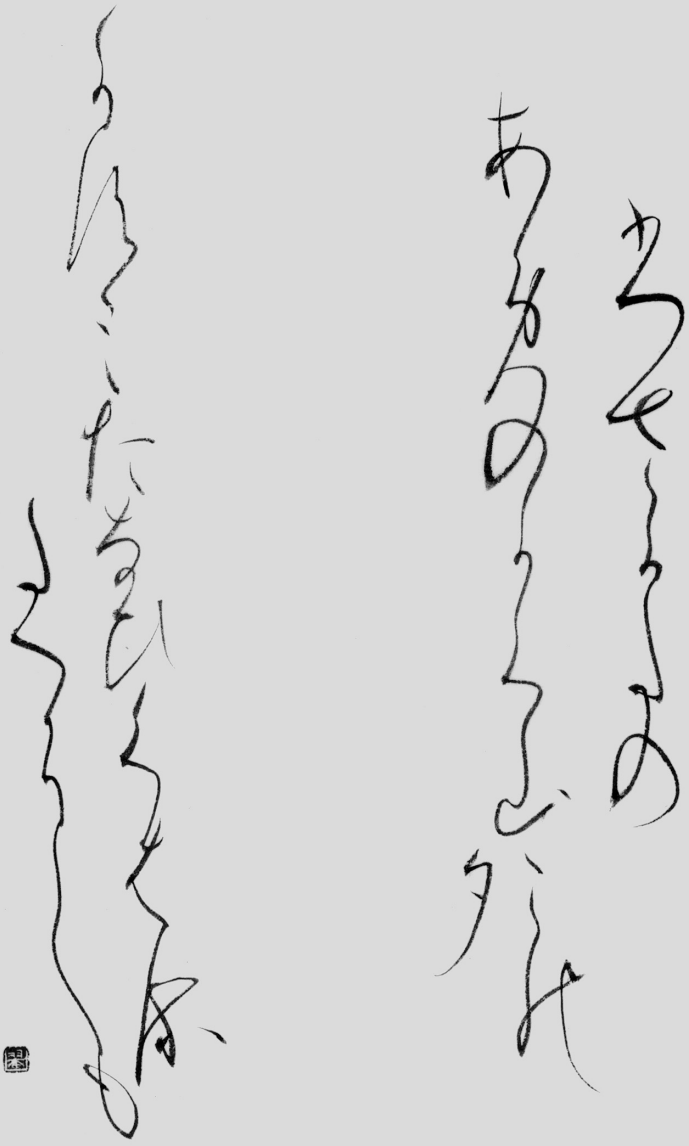
声	赤
が	ち
	や
き	ん
こ	の
え	泣
る	き

小学三年

も	しん
る	しん
雪	と
の	ふ
冬	り
げ	積
し	
き	

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



松永翠舟先生書

悲ひさかたの
 可多あめのかぐ山
 免この夕
 可かすみたなびく
 能はるたつらしも
 可須三奈久者流多
 (万葉集)